SONY

4-653-573-**01**(1)

CD-R/RWドライブ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CRX76U

 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

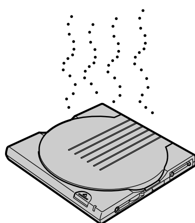
4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



→

❶ 電源を切る
❷ ACアダプターやインターフェースケーブルを抜く

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


注意


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

目次

⚠警告・⚠注意 4
はじめに 9
必要なシステム構成 9
使用できるディスク 11
　CD-RディスクとCD-RWディスクについて 12
各部の名称と働き 14
コンピューターとの接続 16
ディスクの出し入れ 17
　ディスクを入れる 17
　ディスクを取り出す 18
故障かな？と思ったら 19
使用上のご注意 22
　特に注意していただきたい事 22
　使用・保管場所について 22
　操作について 22
　輸送について 22
　結露現象について 22
　レンズについて 22
　ディスクの取り扱いについて 22
お手入れ 23
　キャビネットの汚れは 23
　レンズの汚れは 23
　ディスクの汚れは 23
　CD-R、CD-RWディスクの汚れは 23
保証書とアフターサービス 24
　保証書 24
　アフターサービス 24
主な仕様 25
製品サポートのご案内 26







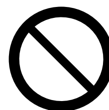
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

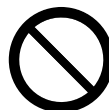
- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、電源コードが傷んだら、修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

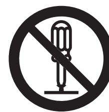
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。





内部を開けない

開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。






火災


感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

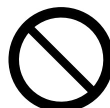
ACアダプターのプラグについたホコリなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不足となり、火災の原因となります。


指示

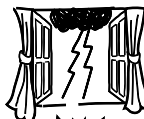
付属のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。


禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

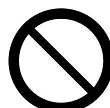
感電の原因となります。




接触禁止

たこ足配線をしない

配線器具をたこ足配線して定格をこえた電流が流れると、火災などの原因となります。


禁止

ACアダプターのプラグは根元までコンセントにさしこむ

しっかり根元までさしこまないと、火災や感電の原因となります。


指示

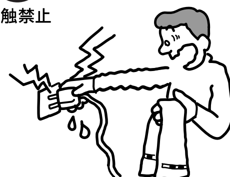


下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。





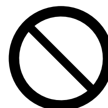
接続するときは電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



通電中の本体やACアダプターに長時間ふれない

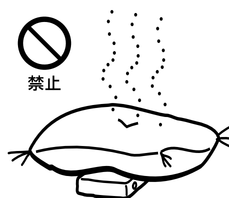
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



本体やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。







下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

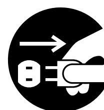
移動させるときは、ACアダプターを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。



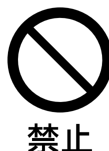
長時間使用しないときはACアダプターのプラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。


プラグをコンセントから抜く

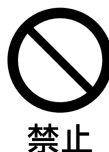
直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。


禁止

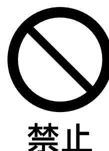
大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。


禁止

指定のインターフェースケーブル以外は使用しない

故障の原因となることがあります。


禁止

レーザー安全基準について

この装置は、レーザーに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のCD-R/RWドライブです。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- Microsoft、MS、MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintoshは米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

- □ 弊社による製品保証は、同梱付属品（ソフトウエア含む）を使用し、指定または推奨するシステム環境を満足し、かつ取扱説明書に従う正常なご使用の場合において、CD-R/RWドライブ本体に限り有効です。また、ユーザーサポートなどの弊社サービスについても、製品保証と同等の使用条件に限り対応致します。
- □ 本製品のご使用による、パソコン本体や他の機器の不具合、特定のハードウエア・ソフトウエア・周辺機器に対する適性、またインストールされたソフトウエア相互の適正などに起因する動作障害、データやディスクの損失、あるいは他の偶発的または必然的な損害に対しては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- □ 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。
- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の傷害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

はじめに

CRX76Uには、次の特長があります。

□ CD-Rディスクに最大4倍速で書き込むことができます。
□ CD-RWディスクに最大4倍速で書き込むことができます。
□ CD-ROMディスクを最大6倍速で読むことができます。
□ 持ち運びに便利な小型軽量設計です。
□ 100～240 Vの電源電圧に対応した小型軽量の専用ACアダプターが付属しています。
□ コンピューターのUSBポートに接続が可能なUSB変換ケーブルが付属しています。

必要なシステム構成

CRX76Uは、次の仕様のコンピューターで使用できます。

ご注意

必要なシステム構成は、CD-RやCD-RWディスクへの基本的な書き込み動作を想定した目安です。実際にCRX76Uを使用するには、ここであげたシステム条件を満足し、かつライターソフトウェアで指定された条件を満たす必要があります。（ライターソフトウェアのシステム条件は、通常、ここであげた条件を上回ります）。

Windowsモデルの場合

□ CPU：Pentium 200 MHz以上（233 MHz以上推奨）
□ RAM：32 Mバイト以上
□ ハードディスク空き容量：100 Mバイト以上（1 Gバイト以上推奨）
□ コンピューターにUSBポートがあること
□ 3.5インチフロッピーディスクドライブ（セットアップに使用）
□ OS：Microsoft Windows 98[1] またはWindows 2000 Professional、Windows Me（各日本語版）

1）Windows 98の場合は、Windows 98 Second Editon以降、または Windows 98 サービスパック1がインストールされていること

次のページにつづく

Macintoshモデルの場合

- □ 機種：iMac、iBook、PowerBook G3、PowerMacintosh G3/G4/G4 Cube
- □ コンピューターにUSBポートがあること
- □ コンピューターに標準でCD-ROMドライブまたはDVDドライブがあること（セットアップに使用）
- □ OS：Mac OS 8.6以上（9.0.4以上推奨）

メモ

Mac OS 9, 9.0.2, 9.0.3をご使用の場合、Mac OS 9.0.4にアップデートすることを推奨いたします。
Mac OS 9.0.4では、USB接続に関するプログラムが更新されており、動作の安定性が向上します。
Mac OS 9.0.4へのアップデートについては、下記のApple Japanホームページにアクセスしてください。
http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/macos_9.0.4_update.html

使用できるディスク

CRX76Uで使用できるディスクは以下の通りです。

ディスクの種類	マーク	
CD-R		
CD-RW		
CD-ROM		
音楽CD		
CD Extra		
ビデオCD		
CD TEXT		
CDグラフィックス		
フォトCD		
CD-i		
電子ブック		

ご注意

CRX76Uでは円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、CRX76Uの故障の原因となります。

次のページにつづく

CD-RディスクとCD-RWディスクについて

CRX76Uは、CD-Rディスクへの書き込みと、CD-RWディスクへの書き込みができます。
これらディスクへの書き込みには、ライターソフトウェアを使用します。
書き込んだディスクをCRX76U以外の他のCD-ROMドライブなどで再生（データの読み出し）するには、ライターソフトウェアで書き込むときに目的に応じた設定を行います。

CD-Rディスクとは

1度だけデータを書き込めるディスクです。一度書き込まれたデータは消去することができません。CD-Rディスクで音楽CDを作成したものは、一般のCDプレイヤーで再生することができます。

CD-RWディスクとは

データを書き込んだり、消去することができるディスクです。目安として、未使用のCD-RWディスクで約1000回の書き換えができます。

ご注意

CRX76Uは、ハイスピードCD-RWディスクには書き込みを行うことができません。ハイスピードCD-RWディスクの再生は行うことができます。

ディスクの互換性について

CRX76Uで作成したCD-RディスクやCD-RWディスクは、ほとんどのCD-ROMドライブで再生することができます。ただし、古いタイプのCD-ROMドライブにはCD-RWディスクの再生に対応していない機種があります。また、使用するCD-ROMドライブ、CD-Rディスク、CD-RWディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによっては稀にディスクの再生ができないことがあります。

書き込み速度について

CD-Rディスク、CD-RWディスクへの書き込みは、ディスクに指定されている書き込み対応速度に設定して行ってください。書き込み速度の設定の変更は、ライターソフトウェアで行います。

推奨するディスクについて

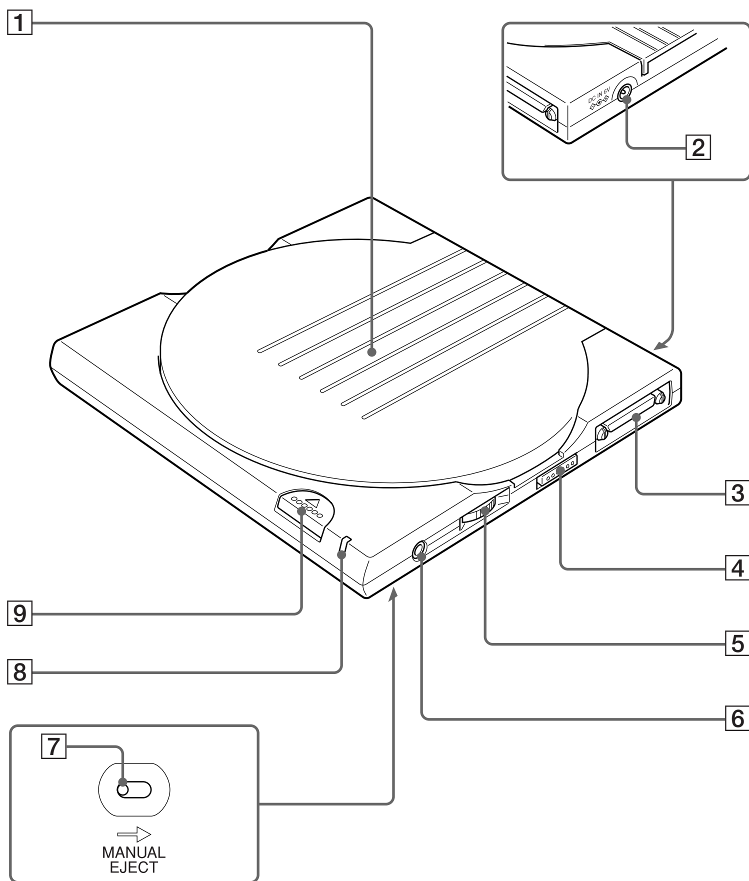
CRX76Uでは、ソニー製記録メディア製品のご使用をお勧めします。詳しくは、弊社ホームページ「SonyDrive」のデータメディア関連ホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/sd/ProductsPark/Models/cat122.html

ご注意

99分ディスクを使用しての書き込みおよび再生に対しては、品質を保証しておりません。

各部の名称と働き



1 **トップカバー**

2 **電源端子（本体背面）**

付属のACアダプターを接続します。

ご注意

付属のACアダプター以外は絶対に接続しないでください。

3 **インターフェースコネクター**

付属のインターフェースケーブルを接続します。

ご注意

付属のインターフェースケーブル以外は絶対に接続しないでください。

4 **電源スイッチ**

電源を入れたり切ったり（オン/オフ）するスイッチです。

5 **ボリュームつまみ**

ヘッドホンジャックから出力されるアナログオーディオの音量を調節します。

6 **ヘッドホンジャック**

ヘッドホンやアクティブスピーカーを接続して使用します。

7 **マニュアルイジェクトレバー（本体底面）**

電源が入っていないときは、このレバーを矢印方向に押してトップカバーを開きます。

8 **インジケーター**

ドライブの動作状態を示します。電源オンで動作していないときは緑色、動作しているときは橙色に点灯します。

9 **イジェクトボタン**

トップカバーを開くときに押します。

重要

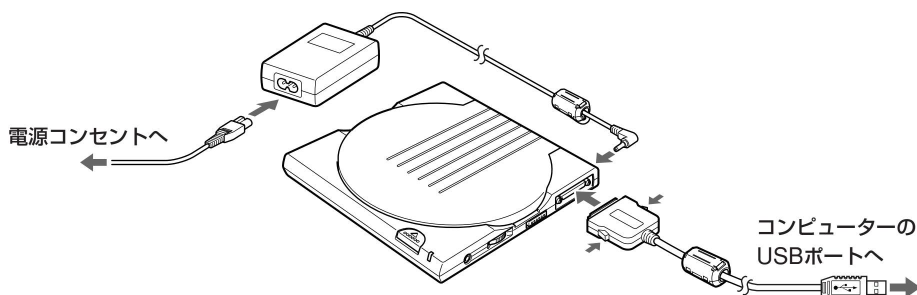
動作中に誤ってトップカバーが開くことを防ぐため、CRX76Uは電動イジェクト機構になっています。このため、電源が入っていないときは、イジェクトボタンを押してもトップカバーが開きません。また、アプリケーションの状況によっては、イジェクトボタンを押したあと、トップカバーが開くまで1秒以上かかることがあります。万一、イジェクトボタンを押してもトップカバーが開かなくなったときは（書き込み中を除く）、本体裏面にあるマニュアルイジェクトレバーを矢印方向に押してトップカバーを開いてください。

コンピューターとの接続

下図のように接続します。

ご注意

- CRX76Uをコンピューターに初めて接続するときは、接続の前に、必ず「クイックスタートガイド」をお読みください。
- ACアダプター、電源コード、インターフェースケーブルは、付属のもの以外は絶対に接続しないでください。



USB接続に関するご注意

- CRX76UはコンピューターのUSBポートに直接接続してください。ハブ（キーボードのUSBハブを含む）を経由しての動作は、保証していません。
- インターフェースケーブルのCRX76U側を抜く前には、次のことを行ってください。
  – CRX76Uの電源をオフにする。
  – コンピューター側のコネクターを抜く。

  メモ

  インターフェースケーブルのコンピューター側は、CRX76Uの電源がオンのままでも抜き差しすることができます。
- Windows 2000またはWindows Meの場合は、CRX76Uのインターフェースケーブルを抜く前にタスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックし、「USB Storage Adapter V2を停止します」を選択することをお勧めします。デバイスの停止をしないでインターフェースケーブルを抜くと、警告のメッセージが表示されます。

  メモ

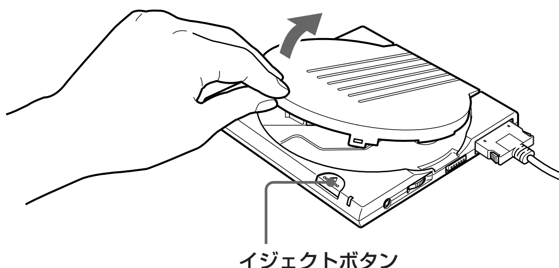
  電源のオン/オフは、CRX76Uとコンピューターのどちらを先に行ってもかまいません。

ディスクの出し入れ

ディスクを入れる

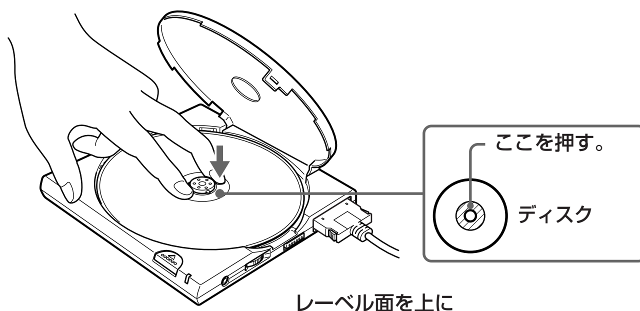
1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。

トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。



2 ディスクを入れる。

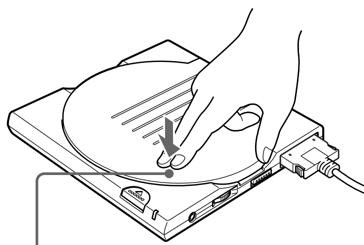
ディスクの中心を、ディスクが固定されるまで押し込みます。カチッと音がするまで、確実に装着してください。このとき、無理な力を加えないでください。また、レンズに触れないように注意してください。



次のページにつづく

3 トップカバーを閉める。

ディスクのデータを使えるようになります。



ここを押してしっかりふたをしめます。

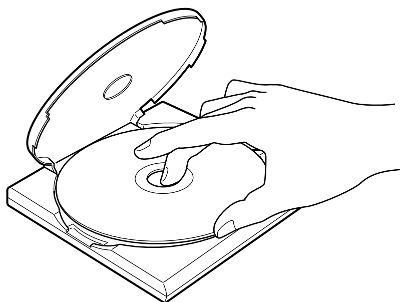
ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。

トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。

2 ディスクを取り出す。

ディスクの端に指を当て、ドライブ中央の凸起部を押して取り出します。



ご注意

- ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してから、ディスクを取り出してください。
- インジケーターが橙色に点灯しているときは、トップカバーを開けないでください。コンピューターの操作ができなくなることがあります。

故障かな？と思ったら

指定の相談窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
それでも具合が悪いときはお買い上げ店または指定の相談窓口にご相談ください。
CRX76Uのユーザーサポートに関する最新の情報を、インターネットでご案内しています。あわせてご参照ください。

症状	原因／対策
本ドライブがコンピューターに認識されない。または正常に動作しない。	→ ドライバーのインストールが正常に終了していない可能性があります。一度アンインストールを行ったあと、手順に従って再度ドライバーのインストールを実行してください。 「クイックスタートガイド」をご覧ください。 → ACアダプターやインターフェースケーブルが正しく接続されていない可能性があります。接続部分がドライブやコンピューター本体にしっかりと接続されていることを確認してください。また、「クイックスタートガイド」をご覧になり、正しく接続されているかどうかを確認してください。
ディスクを入れたのに音とびしたりデータが読めない。	→ ラベル面を上にして、ディスクを入れていない可能性があります。 → 使用できないディスクの可能性があります。 本書の「使用できるディスク」（11ページ）をご覧ください。 → ディスクまたは本ドライブのレンズが汚れている可能性があるのでお手入れをしてください。 → ディスクにキズがある場合がありますので、本ドライブに異常がないことを確かめるために、別ディスクに取り替えてみてください。 → 本ドライブのターンテーブルの上にゴミが付着している場合があります。 → 本ドライブやディスクが結露している場合があります。ディスクを取り出して約1時間放置してください。

次のページにつづく

症状	原因／対策
ディスクが取り出せない。	→ ドライブの電源がオフの時は、イジェクトボタンを押しても取り出せません。ドライブの電源を入れるか、マニュアルイジェクトレバーを使用してください。 本書の「各部の名称と働き」（14ページ）をご覧ください。 → 書き込み動作中は、イジェクトボタンを押しても取り出せません。ご使用のライターソフトウェアの操作方法に従って取り出してください。 ソフトウェア製品に同梱されているマニュアルをご覧ください。 → 何らかの原因でコンピューターがハングアップしている可能性があります。 ドライブの電源を入れ直し、コンピューターを再起動させてください。
CD-R/RWディスクへのデータ書き込み時にデータの書き損じが起こる。	→ CRX76Uをハブ（キーボードのUSBハブを含む）に接続している場合は、コンピューターのUSBポートに直接接続してください。 → 書き込み速度を1倍速に設定している場合、4倍速に設定を変更してください。（本ドライブの推奨する書き込み速度は、CD-RWディスク、CD-Rディスクともに4倍速です）書き込み速度の設定変更は、ライターソフトウェアで行います。 → コンピューターのスクリーンセーバーが動作しないように設定を切ってください。 → ライターソフトウェア以外のソフトウェアを終了させてください。他のソフトウェアが動作していると、データ転送レートが極端に低くなり、データの書き損じが起こるおそれがあります。 → 常駐型のディスクユーティリティーや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティーなどは終了させてください。
作成した音楽CDを再生すると、ノイズが聞こえる。（再生音にノイズが混入している）	→ ライターソフトウェアの設定を変更してください。 ライターソフトウェアの操作については、付属のライターソフトウェアに同梱されているマニュアルをご覧ください。 → コンピューターの機種によっては、ノイズが発生する場合があります。別のコンピューターを使用して音楽CDを作成すると、ノイズのないCDが作成できることがあります。
コンピューター起動時に障害が出たり、ライターソフトウェアが正常に動作しない。	→ すでに「CDRFS」などのパケットライト方式のライターソフトウェアがインストールされているコンピューターに、CRX76Uに付属のライターソフトウェアをインストールすると、正常に動作しない場合があります。「CDRFS」など、他のパケットライト方式のライターソフトウェアはあらかじめアンインストールしてください。コンピューターによっては「CDRFS」がプリインストールされている場合もありますので、ご確認ください。

症状	原因／対策
付属以外のライターソフトウェアをインストールしたが、動作しない。	→ ご使用のライターソフトウェアがCRX76Uに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。 → ライターソフトウェアのバージョンの違いにより、CRX76Uに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。また、ソフトウェアバージョンのアップグレードサービスやダウンロードサービスを利用し、CRX76Uに対応できることがあります。
いままで正常に使用できていたが、ある時期から動作が不安定になった。	→ 何らかのアプリケーションをインストールしたあとに動作が不安定になった場合は、そのアプリケーションを一度アンインストールしてください。それで症状が回復した場合は、そのアプリケーションの使用やインストールを控えてください。
音楽CDの再生音がヘッドホン、またはコンピューターのスピーカーから聞こえない。	→ Windowsの設定によって、音声の出力先を変更します。 • Windows MeおよびWindows 2000の場合は、［スタート］ボタン－［設定］－［コントロールパネル］－［システム］を開き、［デバイスマネージャ］タブを表示させます（Windows 2000の場合は、［ハードウェア］タブで［デバイスマネージャ］ボタンをクリックして「デバイスマネージャ」ウィンドウを表示させます）。［CD-ROM］にある「CRX76U」をダブルクリックし、［プロパティ］タブで［このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする］チェックボックスをチェックすると、コンピュータのスピーカーから音楽を聴くことができます。チェックを外すと、ヘッドホンから聴くことができます。 • Windows 98の場合は、［スタート］ボタン－［設定］－［コントロールパネル］－［マルチメディア］を開き、［音楽CD］タブで［このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする］チェックボックスをチェックすると、コンピュータのスピーカーから音楽を聴くことができます。チェックを外すと、ヘッドホンから聴くことができます。 • Macintoshの場合は、CRX76Uにセットした音楽CDの再生音を本体のスピーカーで聴くことはできません。CRX76Uに接続したヘッドホンからは聴くことができます。なお、音楽CDの再生には、Macintosh本体に装備されたCD-ROMドライブやDVD-ROMドライブのご使用を推奨します。 • コンピューターによっては、スピーカーから音楽を聴くことができないものがあります。その場合は、ヘッドホンから聴くことができます。

使用上のご注意

特に注意していただきたい事

- **動作中に本機を、絶対に移動したり持ち上げたりしないでください。特に書き込み動作中に振動や衝撃を絶対に与えないでください。書き込み途中にエラーを発生させ、そのCD-R/RWディスクが使用不能になる場合があります。**
- **付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。**
- インターフェースケーブルのコネクター付近を、強く折り曲げたりしないでください。断線や接触不良の原因になります。

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

操作について

本機は水平な場所に置いて使用してください。

輸送について

- 梱包箱は大切に保管してください。輸送の際に必要になります。
- 本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

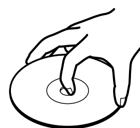
急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して1時間以上待ち、それから電源を切ってください。

レンズについて

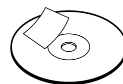
本機のレンズ（ふたの内側）には触れたり、直視しないでください。また、ほこりがつかないようにディスクの出し入れのとき以外はふたを閉じておいてください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。



- ディスクに文字を書いたり、紙などを貼ったりしないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

お手入れ

キャビネットの汚れは

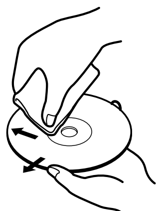
柔らかい布で空拭きします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

レンズの汚れは

レンズが汚れて本機が正常に動作しなくなったときは、お買い上げ店やサービス窓口にご相談ください。

ディスクの汚れは

柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。
汚れがひどいときは柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。
ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めますので使わないでください。



CD-R、CD-RWディスクの汚れは

- CD-Rディスクや、CD-RWディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- CD-Rディスクや、CD-RWディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは指定相談窓口へご連絡ください

指定相談窓口については、本書の「製品サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

取扱説明書と保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCD-R/RWドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、修理窓口にご相談ください。

修理のご依頼について

本製品の修理をご依頼の際は、製品本体、およびインターフェースケーブル、ACアダプターなどの付属品一式を、お買い上げ店やサービス窓口にご提供ください。

- 本製品は持ち込み修理対象製品です。故障その他の理由でお買い上げ店やサービス・相談窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取り外し、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。
- 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。

主な仕様

速度

書き込み速度（CD-R）

2倍速、4倍速

書き込み速度（CD-RW）

2倍速、4倍速

読み出し速度

最大6倍速

ディスク

使用可能なディスク

CD-ROM

CD-ROM XA

Photo CD

（マルチセッション対応）

CD-DA

CD-RW

CD-R

CD-I

ビデオCD

CD Extra (CD+)

CD TEXT

CD Bridge

オーディオコンバインドCD-ROM

ディスク径　12 cm

8 cm（読み出しのみ）

書き込み方式

トラックアットワンス

ディスクアットワンス

セッションアットワンス

パケットライト

ドライブ

データ転送レート

最大　:900 Kバイト/s（6倍速[1]）

アクセス時間

平均（ランダムストローク）：160 ms

1) 最大データ転送レートは、コンピューターの性能によって異なります。

環境条件／保存環境

動作温度

5 ℃～35 ℃

動作湿度

20 %RH～80 %RH（結露なきこと）

保存環境

温度－20 ℃～50 ℃　湿度20 %RH～90 %RH（結露なきこと）

電源・その他

電源

外部電源ジャック　定格5 V

ACアダプター（付属）を接続してAC100-240 V電源から使用可能。

消費電力

約5.5 W

大きさ

約129×15×134 mm（幅／高さ／奥行き）

質量

約200 g（本体のみ）

インターフェース

ドライブインターフェース

ATAPI準拠（USB1.1準拠変換ケーブル ACR-B01によりコンピューターとUSB接続）

バッファ容量

8 Mバイト

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製品サポートのご案内

CRX76Uの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウエアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- **ユーザーサポートホームページ**
  http://www.sony.co.jp/CRX76U
- **故障かな？と思ったら**
  本書19ページ
- **ライターソフトウェアについて**
  付属のライターソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。

それでもご不明な場合、以下の相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。

- **型名：CRX76U**
- **製造番号**
- **製品の購入年月日・ご購入店名**
- **ご使用のコンピューターのメーカー・型番**
- **コンピューターの仕様（CPU速度、メモリー容量など）**
- **ご使用のライターソフトウエア**
- **不具合時の状態：できるだけ詳しく**
- **製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など**

ソニーストレージテクニカルレスポンスセンター
TEL 03-5350-1460
受付時間
月～金
10:00～12:00
13:00～17:00

CRX76Uの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージ
テクニカルレスポンスセンター

TEL: 03-5350-1460

受付時間
月～金
10:00から12:00
および
13:00から17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Malaysia

